



野遊びや自然観察、稲作体験など、子どもたちが自然の中で遊ぶ行事や、生き物調査など人と自然をつなぐ活動をしています。

## 鴨池観察館とは

片野鴨池のほりにある加賀市鴨池観察館は、鴨池の環境保全の拠点となる施設で1984年に加賀市によって建設されました。観察館では、いろいろな展示物やクイズラリーを通して鴨池の自然や歴史について楽しみながら学ぶことができ、窓際に設置された望遠鏡を使って目の前に広がる鴨池の生きものたちを観察することができます。館内には小さなお子さん向けの鴨池パズルや鴨池絵本なども準備してありますので、ご家族でお楽しみいただけます。また、週末を中心に自然観察や稲作体験など誰でも参加できる各種イベントを開催しており、より深く鴨池を感じ、知ることができます。遠いシベリアからやって来たマガンやヒシクイが冬に餌を食べるたんぼで行う田植えや稲刈りは他では滅多にできない体験です。鴨池観察館で、四季折々の自然をお楽しみください。

## ACCESS



- ・JR加賀温泉駅から11km…車で20分、キャンパス 海まわりで40分
- ・JR大聖寺駅から4km…車で10分
- ・北陸自動車道 加賀ICから、車で15分

## INFORMATION

入館料	
個人	350円
団体(20名以上)	290円
高齢者(75歳以上)	170円
高校生以下及び心身障害者※	無料

**開館時間**  
午前9時～午後5時(但し、入館は午後4時30分まで)

**休館日** 年中無休

- 団体で見学される時は、お申し込みをお願いします。
- 駐車場：収容台数 小型車44台、大型バス 5台
- ※入館料免除ご希望の方は、受付で障害者手帳をご提示ください。

お問合せ先

### 加賀市 鴨池観察館

〒922-0564 石川県加賀市片野町2番地1  
TEL (0761)72-2200 FAX(0761)72-2935  
<http://www.kagashi-ss.co.jp/kamoike/>

E-mail:kamoike@kagashi-ss.co.jp



# 加賀市 鴨池観察館

四季の移ろいとともに生命の輝きが見られる池

春



秋



人と自然が共存してきた豊かな湿地です。

ようこそ！  
ここは片野鴨池  
人と自然が仲良く暮らす池



ラムサール条約湿地・片野鴨池では、鳥たちをはじめとするいろいろな生きものたちを間近に感じることができます。



鴨池観察館では、ご要望に応じ様々な自然体験プログラムを企画実施しています。団体でのご旅行、学校での修学旅行、遠足、総合的な学習の時間で鴨池へ訪れる際には、ぜひご利用ください。



モズ



チュウサギ



ヤブカンゾウ



シレーゲルアオガエル



ヒシ



ミヤマクワガタ



ミズアオイ

春から夏の生きもの

## 鴨池の四季

春、周りの丘にヤマザクラの花が咲き始めると、たんぼからカエルたちの歌が聞こえてきます。サギや巣立った小鳥たちに見とれているうちに、いつの間にか夏。池一面を覆うオニビシが小さな白い花を咲かせています。たくさんのトンボやクワガタなどの昆虫が見られるのもこの頃です。そうこうしていると、いつの間にか池の上に水鳥たちの姿が目につき始める秋。9月の終わり頃には、シベリアからマガンやヒシクイなどのガン類が飛来します。彼らは、今では見られる場所が少なくなってしまった貴重な鳥たちです。徐々に気温が下がり、日に日に水鳥の数が増えてくる、冬。きれいな羽毛に衣替えしたマガモが雌の前でダンスをしてプロポーズ。極東アジアにしかない、珍しいトモエガモも目立ち始めます。すると、クマタカやオオタカなどの猛禽類がカモを狙います。厳しい冬を生き抜こうとする鳥たちの姿が見どころです。2月に入ると少しずつ空気の中に春の気配が感じられるようになり、また新しい鴨池の一年が始まります。

## ラムサール条約と鴨池

鴨池は、湿地を守るための国際条約「ラムサール条約」に登録されています。面積はわずか10ヘクタール（野球場2つ半）しかありませんが、世界的に見ても重要な湿地とされているのです。その理由は、マガンやヒシクイ、多数のカモ類など水鳥を中心とした豊かな生態系が残っていることと、人と自然の共存が今でも続いていること。

鴨池は、たんぼや鴨猟をしながら、地元の人たちがずっと大切に守ってきた場所なのです。だから、鴨池では秋から冬には池に近づいたり、窓を開けて観察することができません。ご不便をおかけしますが、鴨池を守ってきた300年以上続く地元のルールです。どうぞご理解ください。

秋から冬の生きもの



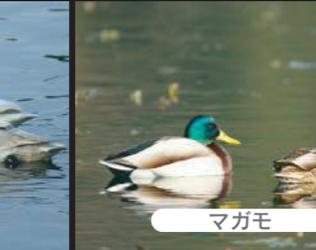
マガン



ヒシクイ



コハクチョウ



マガモ



トモエガモ



クマタカ



オオタカ

## ● 鴨池のたんぼ



昭和30年代の鴨池



今から300年以上も前の1678年。大聖寺藩が鴨池の水を抜くためのトンネルを掘り、干上がった部分にたんぼを作りました。たんぼがあると、池に溜まる土砂や植物が定期的に取り除かれるため、池が浅くなるのが防がれます。さらに、畦は水鳥たちの休み場所にもなっていました。その後の減反や高齢化のためたんぼは徐々に減ってしまいましたが、現在はイベントやボランティア活動の一環として、観察館のすぐ下で作っています。江戸時代から続く鴨池のたんぼの歴史に、あなたも参加してみませんか？

## ● 鴨池の坂網猟



坂網猟

坂網猟とは、たんぼと同じく江戸時代から続く伝統的な投げ網猟のこと。冬の夕方、鴨池を取り囲む丘の上で網を持ってカモを待ち、頭上を通過する一瞬を狙って網を真上に投げて捕らえます。あまり知られていませんが、坂網猟はカモを捕獲するだけでなく、今も昔も鴨池を守っています。たとえば、太平洋戦争後に進駐軍によって鴨池で銃猟が行われたときには、当時の組合長が司令本部に直訴、中止させました。近年でも、鴨池内の湿地管理や監視活動などを続けながら鴨猟を続けています。

## ● 鴨池を守る活動

### カモを守るふゆみずたんぼ



水を入れる子ども



ふゆみずたんぼ

長い期間に渡って守られてきた鴨池では、現在でも水鳥たちを守るための様々な取り組みが行われています。中でも「ふゆみずたんぼ」は多くの方々の協力で進められており、冬のたんぼに水を溜めることで水鳥たちの餌場を作り出しています。カモたちは水がないたんぼでは餌をうまく食べられないので、これらのたんぼはとても重要な餌場になっています。

### ボランティア活動

鴨池には、地域の宝、日本の宝である鴨池を守ったり、すばらしさを多くの方に伝えたい、という思いを持った皆さんで作るボランティアグループ「鴨池観察館友の会」があります。友の会では、鴨池の水田環境を残すための活動や展示物の作成、観察館行事の支援を行っています。鴨池を大切にしたい、という方ならどなたでも参加できます。



## 施設案内図



鴨池観察館では、野鳥などの生きもの観察や展示、イベントを通して鴨池の自然や歴史、文化について学んでいただけます。

## イベント案内

鴨池観察館では、友の会と共同でいろいろなイベントを実施しています。ぜひ御参加下さい。



田植えしよっさ



稲刈りしよっさ



生きもの観察



土曜日の研究室

他にもイベントを実施しています。イベント情報は館内掲示板やホームページでご確認ください。

加賀市鴨池観察館 検索